

ポットハボタンの正月需要向け出荷技術

【背景・目的・成果】

ポットハボタンは7月下旬～8月上旬に播種して11月上旬～下旬に出荷するのが一般的な作型ですが、最近では12月中旬の正月向けの寄せ植えやアレンジ用での需要が高まっています。しかし、この時期に対応した作型が開発されておらず、出荷適期を過ぎて品質の低下したものが出荷されることが多く問題となっています。そこで、12月中旬出荷のための播種適期、その後の栽培管理を明らかにし、新たな作型を開発しました。

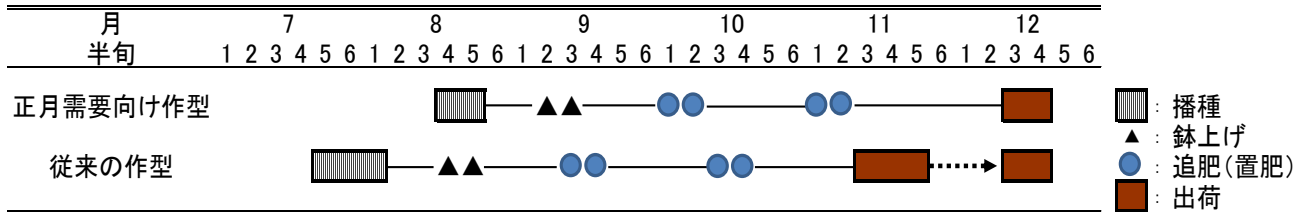


図1 ポットハボタン(9cmポット)の作型

- ◆正月向け需要の12月中旬に出荷するポットハボタン(9cmポット)は、播種時期をこれまでより遅らせ8月15日～25日とします。
- ◆追肥時期は10月5～15日および11月7～17日とし、それぞれ固形肥料(N:P₂O₅:K₂O=8:8:8)を1ポット当たり1粒(1.5g)施用します。



播種日(月/日)

図2 播種日とハボタン‘ウインターチェリー’の生育

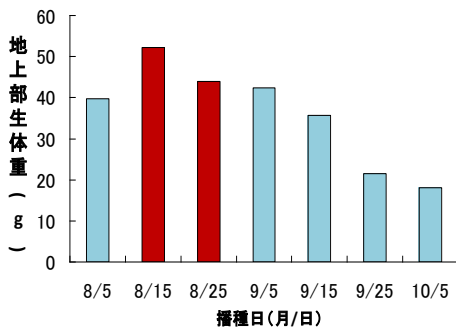


図4 播種日がハボタン‘ウインターチェリー’の地上部生体重に及ぼす影響

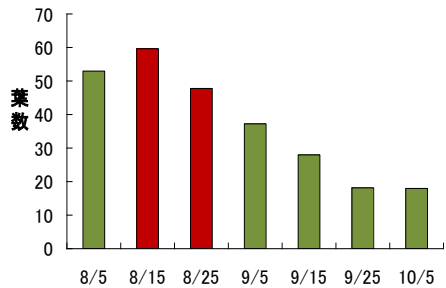


図3 播種日がハボタン‘ウインターチェリー’の葉数に及ぼす影響

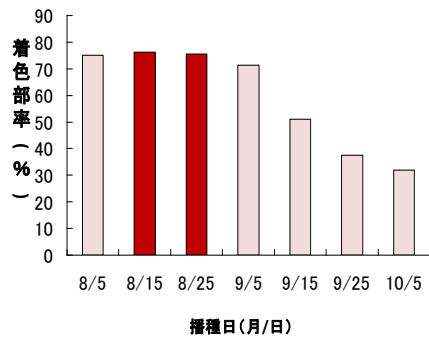


図5 播種日がハボタン‘ウインターチェリー’の着色部率に及ぼす影響

※着色部率=着色部最大径/最大株幅

○8月15日及び8月25日播種で、葉数が40枚以上、地上部生体重が40g以上、着色部率が60%以上あり、出荷商品として鑑賞価値を満たすものとなります。

○8月5日播種は、下葉の落葉などにより、葉数及び地上部生体重が8月15日播種のものに比べ減少し、品質低下が見られます。9月5日以降の播種は、葉数及び地上部生体重が出荷商品として不足します。

【技術の活用】 播種時期を従来の7月下旬から8月下旬まで設定でき、出荷期間を11月上旬から正月向けの12月中旬まで拡大することができます。